



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	29,615	31.5	5,500	176.0	2,310	△5.2	1,683	3.8
28年3月期第2四半期	22,513	△12.7	1,992	△34.5	2,437	△44.4	1,621	△46.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 34百万円(△97.1%) 28年3月期第2四半期 1,211百万円(△70.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	49.21	—
28年3月期第2四半期	47.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	127,127	97,206	76.3
28年3月期	126,415	98,293	77.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 97,016百万円 28年3月期 98,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	22.50	37.50
29年3月期	—	20.00			
29年3月期(予想)			—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当22円50銭 記念配当2円50銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	27.1	11,500	98.9	8,000	76.5	5,500	68.1	160.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	36,600,000株	28年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,382,512株	28年3月期	2,382,183株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	34,217,754株	28年3月期2Q	34,218,560株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では雇用環境の改善をともなって堅調な景気拡大が続いており、欧州では英国のEU離脱問題の影響が懸念されるものの緩やかな景気回復が継続しています。また、景気の減速が懸念される中国においても一部に持ち直しの兆しが見られるなど底堅く推移しています。わが国においては雇用環境の改善が見られるものの、急激な円高の進行や個人消費の低迷が長引くなど軟調な推移となっています。

そのような経済情勢の中、当社グループは世界各地のユーザーのニーズに応えるべく、各産地に密着した提案営業を積極的に展開することに注力しました。

コア・ビジネスである横編機事業において、アジア地域ではバングラデシュやASEAN諸国で先進国アパレルの短納期要請に対応するため、生産効率の高いコンピュータ横編機の設備投資が活発な動きとなり、「SSR」や「SVR」の売上が拡大しました。また人件費の上昇によるコスト高で製品輸出が減少している中国市場においても、OEM生産から脱却し国内衣料品市場に向けた付加価値の高いものづくりへの転換や、シューズ向けにコンピュータ横編機の活用が高まり売上が伸張しました。韓国市場では多品種少量、クイックレスポンスの消費地型生産体制が進み、ホールガーメント横編機の最新機種「MACH2XS」の導入につながりました。

さらに中東のトルコにおいても、政治的な不安定要因を抱えつつも欧州アパレル向けの生産は堅調に推移し、「SVR」「SSR」の売上が拡大しました。

欧州では、イタリアにおいて多彩な編成が可能な「SRY」や多色編成に対応する「SIR」、さらに「MACH2XS」の採用先が広がるなど売上が伸びました。また国内市場においてもコンピュータ横編機の売上高は前年同期を上回る推移となりました。これらの結果、横編機事業全体の売上高は237億41百万円（前年同期比44.9%増）と大幅に増加しました。

デザインシステム関連事業においては、「SDS-ONE APEX3」や自動裁断機「P-CAM」の販売が前期並みとなり、売上高は18億1百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

手袋靴下編機事業の売上高は9億19百万円（前年同期比3.6%減）となり、部品売上などその他事業につきましては、売上高は31億53百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は296億15百万円（前年同期比31.5%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加に加えて生産台数増加にともなう原価低減などにより営業利益は55億0百万円（前年同期比176.0%増）と大幅に増加しました。一方、営業外で為替差損36億59百万円（前年同期は為替差益1億41百万円）が発生したことで経常利益は23億10百万円（前年同期比5.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億83百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は受取手形及び売掛金の増加などで前期末に比べ7億11百万円増加し、1,271億27百万円となりました。負債合計は短期借入金の増加などで前期末に比べ17億98百万円増加し、299億20百万円となりました。また自己資本の額は、970億16百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて1.3ポイント低下し76.3%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において売上債権の増加や法人税等の支払により7億81百万円の資金の減少（前年同期は16億71百万円の資金の減少）となりました。投資活動においては有形固定資産の取得による支出などにより6億44百万円の資金の減少（前年同期は8億28百万円の資金の減少）となりました。また、財務活動においては短期借入金の増加などにより8億62百万円の資金の増加（前年同期は8億27百万円の資金の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末に比べて13億34百万円減少し、84億18百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月19日に発表しました平成29年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に係る減価償却方法の変更に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,158	9,554
受取手形及び売掛金	58,313	61,766
有価証券	44	34
商品及び製品	10,208	10,104
仕掛品	1,130	1,272
原材料及び貯蔵品	6,883	6,637
その他	4,094	3,035
貸倒引当金	△1,850	△1,419
流動資産合計	89,983	90,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,298	5,713
土地	10,909	10,928
その他(純額)	4,233	4,469
有形固定資産合計	20,442	21,110
無形固定資産		
のれん	4,311	3,684
その他	116	225
無形固定資産合計	4,428	3,910
投資その他の資産		
投資有価証券	7,070	7,560
退職給付に係る資産	693	745
その他	7,965	6,064
貸倒引当金	△4,168	△3,249
投資その他の資産合計	11,561	11,120
固定資産合計	36,431	36,140
資産合計	126,415	127,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,716	3,954
電子記録債務	-	2,473
短期借入金	6,002	7,800
1年内返済予定の長期借入金	-	5,000
未払法人税等	1,073	698
賞与引当金	821	1,160
債務保証損失引当金	482	505
その他	4,452	4,579
流動負債合計	19,548	26,172
固定負債		
長期借入金	5,000	-
長期未払金	1,051	1,051
リース債務	1,203	1,464
退職給付に係る負債	975	988
その他	343	243
固定負債合計	8,573	3,747
負債合計	28,122	29,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	75,135	75,699
自己株式	△6,908	△6,908
株主資本合計	104,810	105,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	554
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△29	△2,103
退職給付に係る調整累計額	200	194
その他の包括利益累計額合計	△6,708	△8,357
新株予約権	180	180
非支配株主持分	10	9
純資産合計	98,293	97,206
負債純資産合計	126,415	127,127

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	22,513	29,615
売上原価	12,026	15,605
売上総利益	10,486	14,010
販売費及び一般管理費	8,493	8,509
営業利益	1,992	5,500
営業外収益		
受取利息	221	164
受取配当金	120	109
為替差益	141	-
その他	202	271
営業外収益合計	685	544
営業外費用		
支払利息	60	21
為替差損	-	3,659
貸倒引当金繰入額	138	-
その他	41	52
営業外費用合計	240	3,734
経常利益	2,437	2,310
特別利益		
投資有価証券売却益	146	18
特別利益合計	146	18
特別損失		
固定資産除売却損	10	-
投資有価証券償還損	-	42
特別損失合計	10	42
税金等調整前四半期純利益	2,573	2,286
法人税、住民税及び事業税	908	516
法人税等調整額	43	85
法人税等合計	951	601
四半期純利益	1,622	1,684
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,621	1,683

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,622	1,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	430
為替換算調整勘定	△304	△2,074
退職給付に係る調整額	△17	△6
その他の包括利益合計	△410	△1,649
四半期包括利益	1,211	34
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,211	33
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,573	2,286
減価償却費	785	849
のれん償却額	223	193
貸倒引当金の増減額(△は減少)	884	△71
賞与引当金の増減額(△は減少)	289	342
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△54	△36
受取利息及び受取配当金	△341	△273
支払利息	60	21
為替差損益(△は益)	△73	2,172
投資有価証券売却損益(△は益)	△146	△18
投資有価証券償還損益(△は益)	-	42
売上債権の増減額(△は増加)	△3,454	△6,855
たな卸資産の増減額(△は増加)	289	△303
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△532	366
仕入債務の増減額(△は減少)	△293	1,378
その他の流動負債の増減額(△は減少)	33	△190
その他	△430	△27
小計	△186	△123
利息及び配当金の受取額	331	272
利息の支払額	△60	△22
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,755	△908
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,671	△781
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△708	△479
定期預金の払戻による収入	919	954
有形固定資産の取得による支出	△434	△871
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△1,003	△547
投資有価証券の売却による収入	829	263
投資有価証券の償還による収入	-	237
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△91	-
長期貸付けによる支出	△200	-
その他	△140	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△828	△644

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	1,809
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△228	△176
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△598	△769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△827	862
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△916
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,349	△1,479
現金及び現金同等物の期首残高	13,164	9,752
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	145
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,814	8,418

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,382	1,821	954	19,159	3,354	22,513
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,382	1,821	954	19,159	3,354	22,513
セグメント利益	3,640	396	166	4,203	414	4,617

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,203
「その他」の区分の利益	414
全社費用(注)	△2,625
四半期連結損益計算書の営業利益	1,992

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,741	1,801	919	26,462	3,153	29,615
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	23,741	1,801	919	26,462	3,153	29,615
セグメント利益	7,371	366	219	7,957	381	8,338

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	7,957
「その他」の区分の利益	381
全社費用(注)	△2,838
四半期連結損益計算書の営業利益	5,500

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 4. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## ①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	19,445	127.7%	7,304	208.4%
デザインシステム関連	2,147	112.4%	737	142.7%
手袋靴下編機	1,061	118.5%	379	468.8%
合計	22,654	125.6%	8,421	205.2%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	23,741	144.9%
デザインシステム関連	1,801	98.9%
手袋靴下編機	919	96.4%
その他	3,153	94.0%
合計	29,615	131.5%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。